

『何でもない日常』

何でもない日常を

彼女は心から愛しいと笑った

何にもない日常に

諦めていた僕も一緒に笑えた

何度もない日常を

彼女は最期まで幸せと笑った

何ともない日常が

僕らが消えた後も続いていくと

彼女のいない日常で

寂しいけれど僕はもう知っていた